

ほけんだより

暑い季節がやってきました。涼しい日もあれば、蒸し暑い日も多くあります…。梅雨明け直後は気温の高い日が続くので熱中症に注意しなければなりません。こまめな水分補給と体調管理に気を付けながら、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



～夏に気を付けたい感染症～



ウイルス感染によって起こる病気です。感染力も強いので必ず病院を受診してください。登所する際には「登所許可証明」や「登所届」が必要になります。

～ヘルパンギーナ～

突然の高熱やのどの痛み、乳幼児ではよだれが増える、食欲低下、不機嫌などの症状が見られます。口内に小さな水泡ができます。熱が下がり、飲食が普段通りでき全身状態が良ければ登所可能です。 ☆ 登所届が必要

～手足口病～

口内、手や足、足の裏、ひざやひじの周り、お尻などに赤い米粒のような発疹が出ます。口内が痛み、水分や食事がとりにくくなります。飲食がしにくい場合には、のど越しが良いものを与えてあげましょう。全身状態が良ければ登所可能です。 ☆ 登所届が必要

～咽頭結膜熱(プール熱)～

急な高熱と喉の痛み、目やにや充血が見られ、全身状態の改善までに 1 週間ほどかかります。感染力が強い為、発熱、目の充血などの症状がなくなってから、2 日を経過し、医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。 ☆ 登所許可書が必要



～流行性角結膜炎(はやり目)～

1～2 週間の潜伏期間があり、結膜の充血や目やに、かゆみ、まぶたの腫れなどが見られます。白目や結膜の充血が著しいのが特徴です。感染力が強い為、家庭内でのタオルの共有を避け、手洗いをきちんと行いましょう。医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。 ☆ 登所許可書が必要

こまめな水分補給で熱中症予防を！

こまめな水分補給が大切です。のどが渇いていなくても水分補給をこころがけていきましょう。特に子どもは体温調節機能が未熟で熱中症になりやすいため、大人が気を付けてあげることが必要です。



【主な症状】

発熱・頭痛・吐き気・息苦しさ
けいれんを起こす、意識を失うなどの重い症状になることもあります。

【対策として…】

- ・扇風機やエアコンで室内の環境を整えましょう。
- ・戸外で遊ぶ場合には帽子をかぶり日陰で遊ぶようにしましょう

【熱中症かな？と思ったら…】

- ・衣服を緩め、涼しい場所に寝かせましょう。
- ・足を高くし、頭・脇下・太ももの付け根などを冷やします。
- ・経口補水液等で水分と塩分を補給します。

★ 環境省の熱中症予防情報サイトなどのアプリを活用することで、その日の活動を考慮し対策することができるので、ぜひ活用してみてください。

7 月の身体測定

ひよこ組：7 日 りす組：2 日
あひる組：14 日 うさぎ組：4 日
ぞう組：5 日 きりん組：7 日

★ 乳児健診：6 日 9：30～



6 月 27 日に歯科検診があります。年に 1 度の貴重な機会ですので、なるべく欠席のないようご協力をお願いいたします。後日歯科検診の結果を配布いたします。虫歯のあるお子さんは歯科を受診し、治療終了後、保育所へ治療確認証の提出をお願いいたします。

熱のお子さんが増えています。発熱時、連絡をしてもつながらないことがあります。お仕事の都合もあると思いますが、必ず連絡のつくようにしてください。また、解熱後 24 時間経過するまで登所はできません。ご協力をお願いいたします。